

地域再生計画等の策定状況

○ 地域再生計画の認定状況

- ・ 第39回認定(平成28年8月30日) 10計画 (7市3町…北海道函館市、青森県弘前市、茨城県阿見町、石川県白山市、山梨県都留市、長野県佐久市、兵庫県三木市、鳥取県南部町、岡山県奈義町、大分県別府市)
- ・ 第40回認定(平成28年11月29日、同年12月13日) 2計画 (2市…徳島県三好市、福岡県北九州市)
- ・ 第42回認定(平成29年3月28日) 1計画 (1町…広島県安芸太田町)
- ・ 第44回認定(平成29年6月27日) 3計画 (2市1町…千葉県匝瑳市、新潟県南魚沼市、静岡県南伊豆町)
- ・ 第45回認定(平成29年11月7日) 1計画 (1町…岩手県雫石町)
- ・ 第47回認定(平成30年3月30日) 2計画 (1市1町…千葉県御宿町、鹿児島県鹿児島市)

計 19計画(12市7町)

○ 生涯活躍のまち形成事業計画の策定状況

- ・ 北海道函館市(平成30年2月策定)
- ・ 青森県弘前市(平成30年3月策定)
- ・ 岩手県雫石町(平成30年3月策定)

(参考)地域再生法の改正(平成28年4月20日施行)による「生涯活躍のまち形成事業」の導入

第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
1	北海道函館市 	福祉コミュニティエリア整備事業(生涯活躍のまち形成事業)	函館市の区域の一部(日吉町4丁目の一部で市営住宅団地跡地)	本事業は、地域包括ケアシステムの考え方に基づき、住まいや医療・介護・予防・生活支援サービスが一体的に提供される仕組みづくりを行うとともに、年齢や障がいの有無に関係なく、子どもからお年寄り、子育て世代などが自然と交流できるまちづくりを行い、多世代交流施設を中核に地域コミュニティの創出を図る。また、住民が相互に支えあい、住民が主体となって活動できるような環境整備の仕組みづくりを行う。	○福祉コミュニティエリアにおける居住者数 :平成28年度 0人 → 平成37年度 500人 ○福祉コミュニティエリアにおける市外からの移住者数 :平成28年度 0人 → 平成37年度 50人
2	青森県弘前市 	アクティブシニアが活躍するひろさきセカンドライフ・プロジェクト	弘前市の全域	本プロジェクトは、弘前市のまちの魅力に共感するとともに、地域課題の解決に貢献する意欲のあるアクティブシニアの移住を受け入れ、地域住民をはじめとする多様な主体と交流・協働しながら就業、ボランティア等に携わり市内で活躍することを通じて、様々な地域課題の解決に寄与するような仕組みを構築しようとするものである。	○弘前版生涯活躍のまち移住者数(累計) :平成27年度 0人 → 平成32年度 70人 ○市の移住サポートセンターで受け付けた50歳以上の相談者数(各年度の相談者数) :相談者数100人(平成28年度から32年度までの累計)
3	茨城県阿見町 	あみプラチナタウン～人と自然が織りなす首都圏近接型の生涯活躍のまち～	茨城県稲敷郡阿見町の区域の一部(荒川本郷地区)	阿見町は、都心から約1時間でアクセス可能な自然豊かな田園都市である。 二地域居住することが可能な60代のアクティブシニアをメインターゲットに、東京圏からの移住を促進することによって、町の社会資源と自然環境が調和した、社会参加型の生涯活躍のまち「あみプラチナタウン」を形成する。 地域住民、医療機関、介護施設、大学などの相互連携によるサービスメニューの強化により、移住者が移住者間のみならず、地域社会に溶け込み、多世代との協働や地域貢献することが可能な環境と地元の雇用を創出する。	○東京圏からのアクティブシニアの移住相談件数(移住相談件数) :平成33年度までに650件 ○東京圏からのアクティブシニアのお試しツアー参加人数(ツアーの参加者数) :平成33年度までに325人 ○東京圏からのアクティブシニアの移住人数(移住人数) :平成33年度までに90人

第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
4	石川県白山市 	多世代参加による 生涯健康・活躍を 目指す「ごっちゃ」 プロジェクト	白山市の区域の 一部(出城地区)	白山市、社会福祉法人佛子園、学校法人金城学園金城大学の3者が相互に連携・協力し、社会福祉法人佛子園本部の拠点となっている白山市の区域の一部である出城地区を対象に、タウン型・大学連携型CCRCの実現を目指す。希薄になりつつある地域や世代間の関係性を解消し、安心・安全で文化的な生活をし、生涯住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、社会福祉法人佛子園の多機能施設を中核とし、高齢者・子ども・障害者・学生などが「ごちゃませ」で暮らせる地域・多世代交流等を支援する取組によるまちづくりに取り組む。	○北安田町(出城地区の一部)の世帯数 :平成28年度 630世帯 → 平成32年度 660世帯
5	山梨県都留市 	生涯活躍のまち・ つる推進事業	都留市の区域の 一部(下谷地区 及び田原地区)	本市の特長である市内に立地する3大学等と、民間事業者等と連携し、元気な高齢者を地域に呼び込む「生涯活躍のまち・つる」を展開することにより、新規雇用の創出と、高齢者をターゲットとした地場産業・新規創業の仕組みとネットワーク化を図る。また、本市への移住者に対しては、大学相互・大学と市の連携を行い、質の高いプログラムや、社会的活動への参加のきっかけづくりを提供する。このことにより、地域全体の総合力を向上させ、ひいては『市民全体の豊かな暮らし』を実現させることを目標とする。	○生涯活躍のまち・つるに伴う移住者数 :H29年3月末 0人→H33年3月末 150人 ○お試し居住の体験者数 :H29年3月末 20人→H33年3月末 100人
6	長野県佐久市 	臼田地区生涯活 躍のまち計画	佐久市の区域の 一部(臼田地区)	佐久総合病院を中心に住民とともに育んできた地域医療の歴史、地域と一体となった保健予防活動などによる全国トップレベルの「健康長寿」の実現、地域包括ケアが充実している強みと、就業やボランティア活動、生涯学習活動など社会活動参加へのワンストップでの体制を構築することで首都圏等の中高齢者の移住を促し、移住者が地域社会との共働により、相互が主体として「愛され、褒められ、期待され、期待に応える」幸福のサイクルを体現し、必要に応じて医療・介護を受けながらずっと住み続けることができるまちを実現する。	○移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数:(※住まい整備が整うまでは移住相談件数) :平成28年度末 200件(相談件数) 平成29年度末 200件(相談件数) 平成30年度末 40世帯(世帯数)

第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
7	兵庫県三木市 	多世代共生による 都市近郊型のまち の再生～みんな が輝く 生きがい あるまち 三木～	三木市の区域の 一部(三木市緑 が丘町)	三木市は、高度成長期に開発された住宅団地が、開発後45年以上となり高齢化・空洞化が進み、消滅の危機を迎えている。全国的に例のない戸建住宅団地の再生によりまち全体を活性化するため、土地利用見直し、団地内住み替えの促進、少子高齢社会に対応した各種生活支援サービスの創出などを進め、団地の魅力を大幅に高めるとともに、生涯活躍のまちづくりにより大都市圏からの移住を促進し、人口バランスを整え多世代が交流・共生し、いきいきと暮らせる持続可能なまちづくりを推進する。	○戸建住宅への移住世帯数(累計) :H28年度 2世帯→H32年度 100世帯 ○整備集合住宅への移住世帯数(累計) :H28年度 0世帯→H32年度 100世帯
8	鳥取県南部町 	南部町版生涯活 躍のまち推進プロ ジェクト	鳥取県西伯郡南 部町の全域	当町の地域特性を生かし、都市圏に住むアクティブシニアが自らの希望に応じて移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加し、多世代と交流しながら継続的なケア体制を確保することで、地域が求める人材を都市部から誘致し、地域住民と一緒に地域活性化に向けた取組を行うことを目指すもの。	○南部町への転入数 :平成27年度(年間310人)比較で平成33年3月末 までに累計200人増

第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
9	岡山県奈義町 	自然とアートの「生涯『総』活躍のまち」づくり計画	岡山県勝田郡奈義町の全域	奈義町では、進学や就職を機に若い世代が町外へ流出し、人口減や高齢化が進んでいる。 中山間地域の小規模自治体であっても、町の強みである「自然」と「アート」を活用し、奈義町でしか体験できない社会的活動や理想的な住まい、継続的なケアを提供し、地域の自然・文化・歴史等を踏まえた「タウンプライド」の下で、年齢や性別、障害や課題の有無等に関わらず、全ての町民や訪れた人が、自分らしい「豊かな暮らし」「豊かな時間」を過ごすことができる、「生涯『総』活躍」のまちづくりに取り組み、偏りのない構成での人口維持を目指す。	○社会増 :平成28年度 50人 → 平成32年度 150人
10	大分県別府市 	日本中の癒しをすべて集めたまち-温泉と医(いや)しと学びへの誘い-	別府市の全域	「生涯活躍のまち」の実現に向けて、「生涯活躍のまち基本指針」の策定、運営推進法人の選定に取り組む。 「生涯活躍のまち形成事業計画」を策定し、中高年齢者の社会的活動への参加の推進、高年齢者に適した住宅の整備、継続的なケアの提供体制の確保、移住支援、地域社会(多世代)交流・協働、生活全般のコーディネートなどに取り組む。	○50歳以上の社会増(平成28年度から平成32年度までの累計) :50人以上

第40回認定 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
11	徳島県三好市  平成28年11月29日認定	三好市生涯活躍 のまちづくり計画	三好市の区域の 一部(池田地域)	移住促進(移住者の受け入れ)を通じ、 ①40歳以上(50代のシニア層を中心)の「移住希望者」にとつ ての自分らしいライフスタイル実現を支援するとともに、 ②移住希望者を「受け入れる地域」が抱える課題(医療・福祉の 担い手の確保、事業の承継等)を移住者とともに解決し、 ③「三好市全体」の地域力向上や、持続可能なまちづくり(地域 資源の再生、関係人口づくり、地域包括ケアの構築促進等)を実現する、 「三方(移住希望者、受け入れ地域、三好市全体)よし」の取 り組みを実践していく。	○UIターン件数 平成27年度 135件 → 平成32年度 170件 ○生涯活躍のまち構想の推進による移住(希望) 者数(累計) 平成27年度 0人 → 平成32年度 100人 ○移住相談件数 平成27年度 86件 → 平成32年度 200件
12	福岡県北九州市  平成28年12月13日認定	住むなら北九州市！北九州市版 生涯活躍のまち	北九州市の全域	「北九州市版生涯活躍のまち」では、アクティブシニアの移 住・定住を促進するための事業に市全体で取り組んでいくと ともに、市内の複数地区において「北九州市版生涯活躍のま ち」を体現するようなモデルエリアを形成していく。モデルエ リアにおいて、「北九州市版生涯活躍のまち」の形成に取り組 むため、中高年齢者の社会活動への参加推進、高年齢者の 居住環境の整備、地域における継続的なケアの提供、その他 移住支援を行う。	○北九州市への50歳以上の転入増加者数 448人(平成28年度から32年度までの累計) ○50歳以上の「北九州市すまいるクラブ」(北九州 市への移住希望者の会員制度)登録増加件数 220件(平成28年度から32年度までの累計) ○お試し居住延べ宿泊増加数 700泊(平成28年度から32年度までの累計)

第42回認定(平成29年3月28日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
13	広島県安芸太田町 	安芸太田町版「生 涯活躍のまち」推 進プロジェクト	広島県山県郡安 芸太田町の全域	地域社会の高齢化、人口の減少に歯止めがかからない現 状において、住み慣れた場所で、暮らし続ける地域を形成す るために、新たなコミュニティの仕組みを構築するとともに、 暮らしをサポートする拠点を整備する。あわせて、都市部か らアクティブシニアやソーシャル志向の高い若者や、介護福 祉人材等の移住を促進し、コミュニティの担い手として活躍す ることができる環境を整備する。	○町外からの転入者の増加数(平成27年比較) 平成32年度末 44人 ○介護福祉関係資格人材育成事業によるIUター ン者数(家族含む) 25人(平成28年度から32年度までの累計)

第44回認定(平成29年6月27日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
14	千葉県匝瑳市 	匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業に係る地域再生計画	匝瑳市の区域の一部(飯倉地域及び飯倉台地域)	本事業は、本市飯倉及び飯倉に隣接する飯倉台を対象に、エリア型の生涯活躍のまちの実現を目指すものであり、具体的には、JR東日本総武本線飯倉駅に隣接する旧ショッピングセンター跡地に、住まいや医療、介護、生活支援等のサービスが一体的に提供される環境を整備し、また、地域交流拠点施設を中核として、年齢や障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで、多世代にわたり交流し、協働することのできる仕組みを構築し、誰もが生涯にわたって活躍し、生涯住み続けたいと思うまちづくりを進める。	○事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した移住者数 :30人(平成29年度から33年度までの累計) ○市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数 :80人(平成29年度から33年度までの累計)
15	新潟県南魚沼市 	「住まう歓びを感じるまち 南魚沼」実現プロジェクト	南魚沼市の全域	CCRC 構想の推進による首都圏からのアクティブシニア層の移住と、若者の移住・定住を推進する。また、快適な住環境の確保、さらに産官連携により海外からの IT 企業を誘致するグローバル IT パークをはじめ、学術機関、医療機関、その他の産業等との連携により、医療・介護サービスも含めたソフト事業を提供し、移住者・在住者を問わず住みやすく快適に暮らせる魅力あるまちづくりを実現する。	○CCRC施設への入居者を含む移住者 :400人(平成28年度から32年度までの累計) ○毎年度市内でのお試し居住数 :240人(平成28年度から32年度までの累計)
16	静岡県南伊豆町 	南伊豆町生涯活躍のまち「南伊豆の大学づくりプロジェクト」	静岡県賀茂郡南伊豆町の全域	町全体をキャンパスと見立て、多種多様な人たちが、お互いに教え合い学び合う場を創出することで、多様な主体が学び、交流し、協働する場が生まれ、就労機会の提供にも繋がる。これにより、地域の活性化が図られ、さらにそこに魅力を感じて新たに移り住む人が増え、人口減少の緩和にも寄与することを目指した生涯活躍のまちづくり事業である。	○拠点エリア内への移住者数 :50人(平成29年度から33年度までの累計) ○サ高住等整備計画づくりへの参加者数及び入居(移住)相談者数 :150人(平成29年度から33年度までの累計)

第45回認定(平成29年11月7日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画 の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
17	岩手県雫石町 	町有地を活用した 雫石町生涯活躍 のまち推進計画	岩手県岩手郡雫 石町の全域	本事業は、本町が策定する生涯活躍のまち構想に基づく、まちなかと町有地を活用したモデルプロジェクトエリア「七ツ森ヴィレッジ」周辺地域の連携による、空き家等既存ストックを活用した、「歩いて暮らせるまちなか居住の推進」と、「地域包括ケアシステムの連携・強化」による安心して暮らせる地域社会の実現など、豊かな自然環境と共に暮らし続けられる環境と、それらをベースとした定住促進活動の展開による移住者の増加によって人口の安定化を目指す。	○移住相談を通じた移住者数:100人(平成28年度16人→平成32年度までの累計)

第47回認定(平成30年3月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

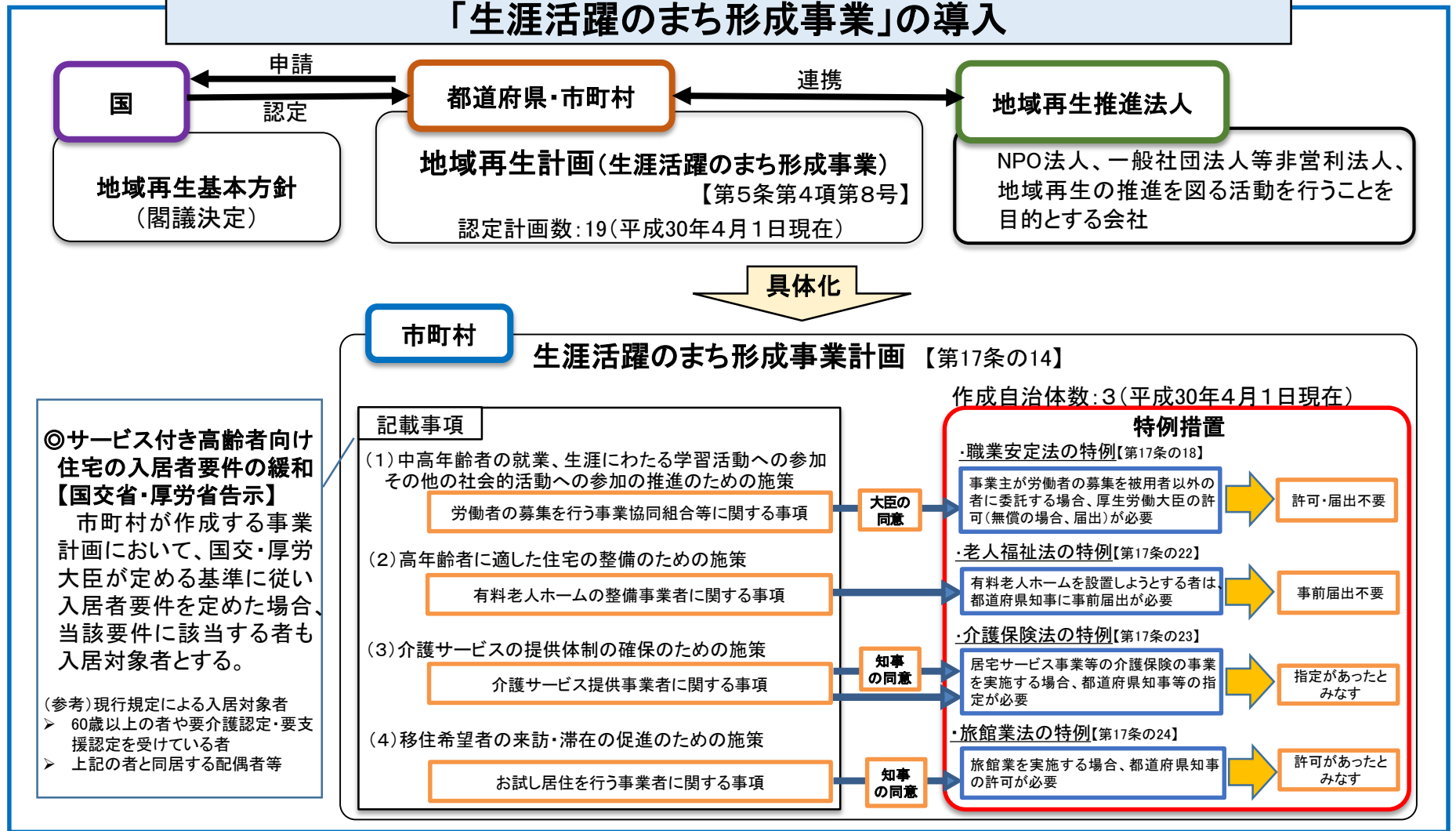
番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の 名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
18	千葉県御宿町 	生涯活躍のまち・ おんじゅく(おん じゅくまるごと生涯 活躍・安心のまち)	千葉県夷隅郡御 宿町の全域	住民と行政の協働により、生活支援・支え合いと多世代交流の仕組みづくりの推進や、地域資源を生かした産業の振興や起業、交流人口の増加、豊かな自然の中で、住まいや理想の暮らしを実現する移住促進を図るほか、医療機関や福祉・介護事業者と連携して、御宿町を終の棲家とするための継続的ケアを受けることができる体制の整備などにより、地域住民と移住者が安心して暮らせるまちづくり、自立した持続可能なまちづくりを進める。 さらに、これらの取組が自立し、持続可能となるよう取組の主体となる人材の育成と組織づくりを図っていく。 また、従来から移住促進のために町が行っている移住体験ツアーやお試し居住事業について見直し・充実を図る。	○移住者の数(新規):23人(平成29年度0人→平成34年度までの累計) ○移住相談者の数(新規):150人(平成29年度0人→平成34年度までの累計)
19	鹿児島県鹿児島市 	アクティブシニアが 輝く健「高」医「良」 都市がごしま推進 計画	鹿児島市の全域	首都圏等に在住する中高年齢者等の本市への新しい人の流れを作り、定住・移住の推進と地域経済の活性化を目指す鹿児島市版「生涯活躍のまち」の形成を進めるため、核となる地域交流拠点の整備や、移住者からの相談対応、地域住民との交流促進等を担うコーディネーターの配置など「生涯活躍のまち」運営体制の構築、また、大学等と連携しながら、健康でアクティブな生活の実現を支援するプログラム開発など、民間主体で取り組む活動を支援する。	○本市の関連施策を通じた移住者数(人):107人(平成29年度時点17人→平成32年度までの累計) ○本市への移住相談件数(件):100件(平成29年度時点51件→平成32年度までの累計)

生涯活躍のまち形成事業計画を策定した自治体の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	形成事業計画の 名称	策定日	協議会の構成員	計画に基づく特例
1	北海道函館市 	函館市生涯活躍 のまち形成事業計 画	平成30年2月	函館市、医療法人社団善智寿会（地域再生推進法人）、アルファコート株式会社、日吉町4丁目町会、第16方面民生児童委員協議会、国立大学法人北海道教育大学函館校、学校法人野又学園函館大学、社会福祉法人ろうふく会函館福祉ちゃん保育園、株式会社北海道二十一世紀総合研究所、北海道知事	○サービス付き高齢者向け住宅の入居者についての特例: 60歳以上の者や要介護認定・要支援認定を受けている者、同居する配偶者等)に加え、 <u>函館市外からの移住者で50歳以上の者</u> を入居対象者として設定。
2	青森県弘前市 	弘前市生涯活躍 のまち形成事業計 画	平成30年3月	弘前市、青森県知事、国立大学法人弘前大学地域未来創生センター長、弘前商工会議所会頭、公益社団法人弘前観光コンベンション協会副会長、公益社団法人青森県宅地建物取引業協会弘前支部支部長、公益社団法人全日本不動産協会青森県本部弘前地区長、有限会社イーエム総合ネット弘前代表取締役社長、一般社団法人弘前市医師会副会長、弘前市社会教育協議会副会長、株式会社青森銀行取締役弘前地区営業本部長、株式会社みちのく銀行執行役員弘前営業本部長、東奥信用金庫本店長、青い森信用金庫執行役員弘前・津軽地区本部長、ペンションワンダーランド代表、株式会社マネジメント・アソシエイツ代表取締役、社会福祉法人弘前愛成園理事長、社会福祉法人弘前豊徳会理事長、NPO法人スポネット弘前理事長、全国訪問ボランティアナースの会キャンパス弘前代表、国際医療福祉大学大学院教授	○サービス付き高齢者向け住宅の入居者についての特例: <u>50代以上の者</u> として設定。 本入居者要件については、社会福祉法人愛成会及び社会福祉法人弘前豊徳会が、弘前市生涯活躍のまち形成事業に係る事業主体として応募する際に提案した以下のサービス付き高齢者向け住宅に対して適用するものとする。 社会福祉法人愛成会：弘前市豊原一丁目1-1 社会福祉法人弘前豊徳会：弘前市元大工町26-1、26-2
3	岩手県雫石町 	雫石町生涯活躍 のまち形成事業計 画	平成30年3月	雫石町、雫石町教育委員会、株式会社コミュニティライフしずくいし、社会福祉法人雫石町社会福祉協議会、雫石診療所、セツ森・丸谷地自治会、雫石商工会青年部、株式会社岩手銀行雫石支店、株式会社北日本銀行、岩手県知事	○旅館業の許可の特例 ○サービス付き高齢者向け住宅の入居者についての特例: 60歳以上の者や要介護認定・要支援認定を受けている者、同居する配偶者等)に加え、 <u>雫石町外からの移住者で40歳以上の者</u> (介護保険の加入年齢到達者)を入居対象者として設定。

地域再生法の改正(平成28年4月20日施行)による 「生涯活躍のまち形成事業」の導入

(参考)



情報支援

- 構想の具体化プロセスに関する『生涯活躍のまちに関する「手引き」』を作成

人的支援

- 関係府省からなる「生涯活躍のまち形成支援チーム」による支援

財政支援

- 財政的支援(地方創生推進交付金等)を通じた先駆的な取組の支援など